

「いじめ対策」



山崎 幸子 議員

質問 どうやったら、いじめで苦しんでいる子どもたちを救えるのか、声なき SOS に先生・大人たちが気づけるのか。いじめに気づいていないけれども、言い出せない子どもたちにも、どうやって協力してもらえるのか。例えば、アンケートをとるときにも、家に持ち帰って郵送するなど、十分配慮した実施方法等も検討したらどうか。

STOP いじめ!



答弁 (教育長) いじめのアンケートを行う場合には、ご指摘のようなことを配慮して実施したい。

質問 埼玉県では、「家庭用いじめ発見チェックシート」というものを使い、「家庭での子どものちよつとした異変に気づき、いじめの早期発見ができるよう、チェックシートを活用している。本村でもこのようなチェックシートを取り入れる考えはないか。

答弁 (教育長) 埼玉県のものを参考に、「美浦村版」

家庭用チェックシートをつくり、いじめの早期発見に役立てたい。

AEDのコンビニ設置

質問 AEDは突然心臓が停止した人に電気ショックを与えて救命する医療機器で、心停止時にAEDの応急処置をした場合は、使用しなかった場合に比べて生存率が4・5倍も上昇するとのこと。本村では公共施設内に設置しているため、夜間や休日では使えない。24時間・365日営業のコンビニに設置をしたらどうか。



答弁 (総務部長) 近隣の設置状況、運用状況を参考として考えていきたい。同時に講習会も継続し、啓発推進していく。



質問 人の生死にかかわることなので、コンビニへの設置を早急に考えていただきたいが、村長の見解は。

答弁 (村長) 住民の不慮の事態が発生したときに活用できるAEDは設置すべきだと思う。コンビニの了解と、AEDが利用できるような住民の講習もあわせてやっていかなければ意味がないので、それができた段階で設置はしていきたい。